

公益財団法人 高知県文化財団職員(美術館勤務)採用選考試験案内

公益財団法人 高知県文化財団

〒781-8123 高知市高須 353-2

TEL 088-866-8013 (総務部)

<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/>

1 勤務場所・職種・採用予定人員等

勤務場所	職種	採用予定人員	職務内容
高知県立美術館(高知市高須353-2)	正職員 〔ホール事業の 企画・制作担当〕	1 名	高知県立美術館ホールにおける、舞台芸術(演劇・ダンス・音楽等)及び映画・映像事業の企画、制作、広報、営業等アートマネジメント業務(海外との渉外活動を含む)

2 採用予定日 平成28年5月1日(ただし合格者の事情により6月1日も可)

3 応募資格

(1) 次のいずれにも該当する者を対象にします。

- ① 昭和31年4月2日以降に生まれた者
- ② 大学又は大学院を卒業若しくは修了した者、又は平成28年3月31日までに卒業若しくは修了見込みの者
- ③ アートマネジメント等職務内容に関連する専門課程を履修もしくはアートマネジメントに関する専門的な知識を有する者
- ④ 舞台芸術の企画・制作等の実務経験を有する者
- ⑤ 業務遂行に必要な英語の語学力(海外と直接交渉できる会話力と記述力)を有する者(資格を有する者は採用試験申込書に明記すること)
- ⑥ 普通運転免許を有する者、又は取得予定の者
- ⑦ パソコン操作が出来るもの(資格を有する者は採用試験申込書に明記すること)

(2) ただし、次のいずれかに該当する者は受験できません。

- ① 成年被後見人又は被保佐人
- ② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ③ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 試験の日時及び場所等

区分	試験日等	試験会場	合格発表
第1次試験	書類選考(採用試験申込時に提出のあった書類により実施)		受験者全員に文書で試験結果を通知します。(平成28年4月5日頃)
第2次試験	平成28年4月24日(日)	高知市内	受験者全員に文書で試験結果を通知します。(4月26日頃)

※第2次試験は第1次試験合格者を対象に実施します。

5 試験の種目及び内容等

区分	試験の種目	内容
第1次試験	書類選考	採用試験申込時に提出のあった書類により実施します。
第2次試験	筆記試験	職務遂行に必要なアートマネジメントなどの専門知識、思考力、記述力、表現力等について試験を実施します。
	面接試験	応対、職務内容に対する専門性、熱意などについて試験を実施します。
	英語試験	職務遂行に必要な英語力(筆記及び会話)について試験を実施します。

6 雇用契約

採用後6か月間は試用期間とします。

その期間の勤務実績が良好である場合に正規の雇用契約を締結します。

ただし、理事長が必要と認める場合には、試用期間を1年間まで延長することがあります。

7 勤務条件

(1) 給与（公益財団法人高知県文化財団給与規程を適用）

平成27年4月1日現在の大学新卒者の初任給は177,600円ですが、採用前の職歴等に応じて加算される場合があります。このほか、期末・勤勉手当や支給要件に該当する者には扶養手当、通勤手当、住居手当などの諸手当が支給されます。

(2) 勤務時間、休日、休暇等（公益財団法人高知県文化財団就業規程を適用）

週休2日制 4週8休（土日・祝祭日勤務あり。1か月単位で勤務シフトを組んで仕事をします）

勤務時間 8:30～17:15／7時間45分

8 応募方法

(1) 提出書類

- ① 採用試験申込書・受験票（別紙指定様式）
- ② レポート テーマ『これからの地域の劇場・音楽堂が果たすべき役割と、わたしが高知県立美術館ホールの企画・制作を志望する動機について』（1200字以内）
- ③ 最終学歴に係る卒業（修了を含む）証明書
- ④ 最終学歴に係る学業成績証明書
- ⑤ 実務経験経歴書（別紙指定様式）
舞台芸術の企画・制作等の実務経験を中心にこれまで携わった具体的業務及びその成果を記入してください（海外での業務経験を含む）。
- ⑥ 返信用封筒【定型・長形3号】（応募者の郵便番号、住所、氏名を明記し、82円切手貼り付け）

(2) 申込方法

① 郵送すること

採用試験申込書・受験票に必要事項を記入し、関係書類を同封した封筒の表に「受験申込書在中」と朱書きし、（公財）高知県文化財団総務部宛てに簡易書留で郵送してください。

※受付期限 **平成28年3月31日（木）必着**のこと。

【宛先】

〒781-8123

高知市高須353-2（高知県立美術館内）

公益財団法人高知県文化財団 総務部

(3) 受験票の取り扱い

- ① 受験票は、応募者の氏名のみを記入し提出してください。
- ② 第1次試験合格者に対し、提出された受験票に受験番号を記入し返送します。
- ③ 返送された受験票は、以下の事項を守って試験当日に必ず持参してください。
受験票の写真欄には、最近6か月以内に撮影した写真（上半身・脱帽・正面向き、縦4cm×横3cmのもの）を貼ってください。写真を貼付けていない受験票では受験できません。

9 その他

- (1) 第1次試験合格者には、あらためて第2次試験日程、試験会場をお知らせします。
- (2) 第2次試験当日は、筆記用具を持参してください。
- (3) 不明な点は、公益財団法人高知県文化財団総務部までお問い合わせください。

TEL: 088-866-8013

メール: somubu@kochi-bunkazaidan.or.jp

公益財団法人高知県文化財団職員（美術館勤務）採用選考試験受験申込書

受験番号

*受験番号欄は記入しないでください。

氏 名	生年月日／年齢		性 別	
	昭和・平成	年 月 日 (歳)	男 □	女 □
現 住 所	(〒 -)			
	電話(- -) 携帯電話(- -)			
	メールアドレス:			
試 験 結 果 連 絡 先	(〒 -)			
	電話 (- -)			
学 歴 (大学以降)	大学名	学部・学科・専攻	在 学 期 間	
			年 月 から 年 月 まで	
			年 月 から 年 月 まで	
			年 月 から 年 月 まで	
			年 月 から 年 月 まで	
職 歴 新しい職から 遡って記入	勤 務 先 の 名 称	在 職 期 間	職 務 内 容	
		—		
		—		
		—		
免許・資格	取得年月	免許・資格	取得年月	免許・資格
語学力	英語 (1 2 3 4 5)		他の外国語	
現 在 の 勤 務 先	名称		所在	
	職種及び職務内容			

受 験 票

公益財団法人高知県文化財団職員（美術館勤務）採用選考試験

(写真貼付)

- 1 最近3月以内に撮影のもの。
- 2 上半身、正面向きの写真。
- 3 写真のない受験票では受験できません。

受験番号	ふりがな	
	氏名	

(注)受験票は第2次試験を受験する際に必ず持参してください。

(縦4 cm×横3 cm)

レポート

氏名 ()

(テーマ) これからの地域の劇場・音楽堂が果たすべき役割と私が高知県立美術館ホール
の企画・制作を志望する動機について

実 務 経 験 経 歴 書

枚／

枚中

勤務先又は 所属団体の名称	活動期間	活動内容及び実績

※記入欄が不足する場合は、別紙を作成（同一様式）し、記入してください。

受験申込書等の記入要領

- 1 受験番号欄は、記入しないこと
- 2 年は元号で、数字はアラビア数字を用い、文字は楷書により正確に書くこと
- 3 メールによる連絡等を行うことも考えられるため、メールアドレスがある場合は、現住所欄に記入すること
- 4 職歴欄は、非常勤の職を含め、全ての職歴を記入すること
非常勤の職の場合は、週当たりの勤務時間数を職務内容欄に記入すること
- 5 語学力欄は、下表を参考に本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと 他の外国語も下表に準じて記入すること

1 (なし)	ほとんど学習したことがない
2 (入門)	高校や大学で学んだことはあるが、不得意で、ほとんど使用していない
3 (初級)	外国出張や外国人の来訪の際に、簡単な会話をすることができる
4 (中級)	外国語の資料による説明や、電話等での応対ができる
5 (上級)	外国語による会議に出席し、プレゼンテーションや質疑応答ができる

<記入例> 英語(1 2 3 ④ 5) その他の外国語(フランス語 3)

- 6 英語検定、TOEFL、TOEIC 等の語学検定を受験している場合は、語学力の「英語」や「他の外国語」欄の余白に、試験の点数や資格取得の時期等を記入すること
<記入例> TOEIC 600 点 (平成26年)
- 7 各欄の記入スペースが不足する場合は、各項目について、別に記載する書類を添付してよいこと
- 8 写真の裏面には、氏名を記入して貼付すること
- 9 レポートについては、1, 200字以内で作成し提出すること。

各関係大学長
各関係大学部長 殿
各関係大学研究科長

広島女学院大学
国際教養学部長 波多野五三
(公印省略)

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では、下記の要領で教員を公募することになりました。つきましては、貴学ならびに関係機関にご周知のうえ、適任者がございましたら是非ともご応募下さるようお願い計らいのほどをお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研究領域 英米文化、欧米地域研究、英米文学、比較文化など
2. 担当予定科目 英米文化に関する科目（「イギリスの文化と歴史」や卒業論文の指導に関するセミナーなど）
3. 職名 准教授、講師、助教のいずれか（講師あるいは助教は3ヵ年の任期付教員。任期中の業績評価により、任期なしの専任職への任用替えあり）
4. 採用人員 1名
5. 応募資格
 - (1) 上記研究領域における博士の学位を有する者または大学院修士課程修了後にそれと同等の教育研究業績を収めた者。
 - (2) 大学院博士前期課程を担当するのに十分な教育研究業績があること。
 - (3) 高等教育機関における教育経験があることが望ましい。
 - (4) 英語で授業を行うことができること。
 - (5) 応募者が英語母語話者の場合、学内行政を行える程度の日本語能力を備えていること。
 - (6) キリスト教主義に基づく本学の建学の精神を理解する者。
 - (7) 学内行政に意欲的に取り組む者。
 - (8) 海外英語研修（夏期1ヶ月程度）の引率業務を行うことができる者。
 - (9) 着任後に、広島市及びその近郊に居住できる者。
6. 採用時期 2016年9月20日
7. 応募締切 2016年4月8日（金）17:00 必着
8. 提出書類

(1) 履歴書（写真貼付）	1部
(2) 最終学歴に関する修了証明書または学位記のコピー	1部
(3) 英語能力あるいは日本語能力に関する証明書がある場合はそのコピー	1部
(4) 教育研究業績書	1部
(5) 主な研究業績3点（別刷りまたはコピー）	1部ずつ
(6) 教育に関する抱負（A4用紙1枚、500字程度の日本語の文章）	1部
(7) 「イギリスの文化と歴史」の授業（全15回）の目標・内容・指導方法・評価方法などをA4用紙1~2枚にまとめたシラバス	1部
9. 選考方法
 - (1) 第一次選考 書類審査
 - (2) 第二次選考 上記シラバスに基づく模擬授業(20分)及び面接審査【4月末までに対象者に直接通知】
 - (3) 第三次選考 管理者による面接【対象者に直接通知】

* 着任時に、健康診断書を提出。
10. 待遇 本学の「給与規程」ならびに「任期付職員任用規程」による
11. 書類提出先 〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1
広島女学院大学 国際教養学部 学部事務室
封書に「教員公募（国際教養学科 英米文化関連科目担当教員）」と朱書き、簡易書留や宅配便など、授受を確認できる方法で送付のこと。
12. 選考結果の通知 各選考手続きが終了し次第、該当者に直接通知する。
13. 照会先（emailに限る） 広島女学院大学国際教養学部長 波多野五三 （hatano@gaines.hju.ac.jp）
14. その他
 - (1) 提出書類に含まれる個人情報等は選考及び採用以外の目的には使用しません。
 - (2) 提出書類の返却を希望する者は、切手を貼付した返信用封筒に宛先を記入の上、応募書類に同封して下さい。その旨の要望がない場合、受理した資料はこちらで処分しますのでご了承下さい。

平成28年度 鳥取県職員採用候補者選考試験受験案内 〔文化財主事（任期付職員）〕

◆鳥取県教育委員会事務局教育総務課◆

〒680-8570 鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎5階

電話 (0857) 26-7578 インターネット <http://www.pref.tottori.lg.jp/kyouiku/>

1 受付期間・試験日・試験会場・合格者発表日

受付期間	平成28年3月8日(火)～平成28年4月8日(金)【必着】 ◎持参の場合の受付時間 8:30～17:15 (土曜日、日曜日及び祝日は閉庁日のため受け付けておりません。) ◎持参、郵便のどちらでも受け付けます。<u>平成28年4月8日(金)必着</u> ※申込みは、<u>できるだけ郵便又は信書便で早めに行ってください。</u>
試験日及び 試験会場	平成28年4月17日(日) ○開場時刻 10:30 ○試験開始時刻 11:00 【試験会場】 鳥取県関西本部交流室 (大阪駅前第3ビル 22階 (大阪市北区梅田1-1-3-2200))
合格発表日	平成28年4月25日(月)(予定)

2 募集職種・採用予定者数・職務内容・主な配属先

職種区分	採用 予定 者数	職 務 内 容	主な配属先
文化財主事 (任期付職員)	2名 程度	埋蔵文化財の発掘調査に関する事務等	埋蔵文化財センター 等

(注)・採用予定者数は、今後変更になる場合があります。

- ・今後の予算、定数等の状況によっては、募集又は採用を中止することがあります。
- ・配属先として、公益財団法人鳥取県教育文化財団へ派遣する場合があります。

3 受験資格

(1) 次のいずれかに該当する人

- ①大学又は大学院で考古学又は歴史学を専攻して卒業(修了)した人
- ②大学又は大学院を卒業(修了)したのち、発掘調査員に相当する職に6ヶ月以上従事した経験のある人(ただし、発掘調査補助員及び発掘作業員を除く。)

(2) 年齢要件はありません。

(3) 日本国籍を有しない人については、活動に制限のない在留の資格を取得している人又は平成28年5月31日までこの資格を取得する見込みの人に限り受験できます。

(4) 地方公務員法第16条に該当する人(次のいずれかに該当する人)は受験できません。

- ・成年被後見人、被保佐人(準禁治産者を含む。)
- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

- ・鳥取県職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
- ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 試験内容

試験種目	配点	内 容
専門試験	100点	〔多肢選択式20問（1時間）〕 文化財主事に必要な専門的知識についての筆記試験 ※出題分野：考古学、歴史学及び埋蔵文化財の調査等に関する知識
論文試験	50点	〔1問（1時間）〕 公務員として必要な識見、思考力、表現力などの能力についての筆記試験
実技試験	150点	〔1時間〕 土器の実測に関する実技試験 ※コンパス、ディバイダー、キャリパー、真弧（マーコ）、定規（三角、直）を持参すること。
人物試験	200点	個別面接等による人物及び専門的知識についての口述試験〔15分程度〕

5 採用予定日及び任用期間

採用予定日	採用は、原則として平成28年6月1日の予定です。
任用期間	平成28年6月1日から平成30年3月31日まで (また、採用された日から5年を超えない範囲内において、任期を更新することがあります。)

6 合格者の決定方法等

- (1) 試験合格者は、専門試験、論文試験、実技試験及び人物試験の各得点並びにその得点を合計した得点等により総合的に判定し、決定します。
なお、各試験の得点にはそれぞれ一定の基準があり、この基準に満たない場合は、試験の得点にかかわらず不合格とします。
また、試験の結果によっては合格者がいない場合及び補欠合格を行う場合があります。
- (2) 補欠合格者は、平成28年5月31日までに合格者の採用辞退、取消、欠員等が発生した場合に順次採用します。
なお、欠員等の発生状況によっては補欠合格者として登録されても採用されない場合があります。
- (3) 合格者決定後、採用までに受験資格の確認のため職歴証明書等を提出していただく場合があります。
なお、申込書等の記載事項に虚偽があると、採用されない場合があります。

7 合格者の発表

合格者の受験番号を鳥取県教育委員会のホームページに掲載するとともに、受験者全員に可否を通知します。

8 試験結果の開示

この採用試験の結果は、鳥取県個人情報保護条例第19条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができます。開示内容等は次の表のとおりです。

開示請求ができる者	開示の内容	開示期間	開示場所
受験者本人	試験種目ごとの得点、合計得点、順位	合格者発表日から1年間	鳥取県教育委員会事務局教育総務課 (県庁第2庁舎5階)

試験結果の開示の請求は、受験者本人が運転免許証、学生証等の写真により本人が確認できるものを持参して、直接開示場所へおいでください。電話、はがき等による請求では開示できませんので注意してください。
受験者本人が、病気等やむを得ない事情により来庁できない場合は、代理人による開示請求も可能です。手続等

の詳細については、鳥取県教育委員会事務局教育総務課までお問い合わせください。

また、希望者には郵送により試験結果を通知しますので、通知を希望される方は、82円切手を貼ったあて先明記の通知用封筒〔長形3号（12.0cm×23.5cm）〕を試験日当日に持参してください。

9 給与

平成28年4月1日現在における初任給（月額）は次の金額となる見込みです。

202,400円（大学卒） 224,300円（大学院修士課程修了）

なお、一定の職歴等がある人については、その経歴に応じて所定の金額が加算されますが、任期中の昇給はありません。

このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当などの諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。採用時までに給与改定があった場合は、それによります。

県外からの赴任者等については、平成28年6月以降に赴任旅費が支給される予定です。

10 受験申込手続

提出書類	申込書1部・・・「受験申込書記載要領」をよく読んで、受験申込書に必要事項を記入の上、提出してください。 なお、発掘調査員に相当する職に6ヶ月以上従事した経験のある人の場合、ご自身が携わった発掘調査の内容がわかる報告書等の写し（例言及び調査員氏名の記載部分のみ）を受験申込書に同封して提出ください。
申込先	鳥取県教育委員会事務局教育総務課人事担当 〒680-8570 鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎5階 電話：(0857) 26-7578 〔持参により申し込む場合〕 提出書類を作成の上、上記の鳥取県教育委員会事務局教育総務課へご持参ください。 〔郵便又は信書便により申し込む場合〕 上記の宛先へ送付してください。 ※封筒の表に赤字で「文化財主事受験」と書いてください。 ※郵便で申し込む場合は、配達記録によるのが確実です。（郵便局又は信書便事業者で交付される受領証等は、大切に保管しておいてください。）
受験票の交付	・ 受験票は事前発送しません。 ・ 受験票は、試験当日の受付時に発行しますので、受験票貼付用の写真1枚（6ヶ月以内に無帽で正面から上半身を写した縦4.5cm、横3.5cmのもの）をご持参ください。 ・ 提出書類は返却しません。

11 個人情報の取扱いについて

本試験実施に際して収集する個人情報については、採用者の選考等採用手続以外には利用しません。

受験申込書記載要領

- 1 記載事項に不正があると受験が無効となる場合があります。
- 2 黒又は青のボールペン又は万年筆を用い、※欄を除くすべての欄にもれなく記入してください。該当する□の中にはレ印を付けて、その他の該当する項目は○で囲んでください。
- 3 現住所及び緊急連絡先は、棟、号室まで正確に記入してください。携帯電話のある場合はその番号も記入してください。
緊急連絡先が現住所と同じ場合は、「同上」と記入してください。
なお、この現住所に試験合格通知を送ります。転居予定がある場合は、その旨を余白に記入し、試験合格通知の宛先を明示してください。
- 4 身体に障がいのある方で、車イスの使用など試験実施時に何か配慮が必要な場合は、連絡事項欄に記入してください。

試験に関する注意事項

- 1 試験当日は、必ず試験開始時刻までに掲示や係員の指示に従って試験室に入室してください。原則として、遅刻者は受験できません。
- 2 受験の際は受験票貼付用写真1枚（6ヶ月以内に無帽で正面から上半身を写した縦4.5cm、横3.5cmのもの）、筆記用具（HB又はBの鉛筆若しくはシャープペンシル、消しゴム）、実技試験用具及び昼食を持参してください。
時計を持参する場合は、計時機能だけのものに限りします。携帯電話を時計として使用することは認めません。

試験会場案内図



〈最寄の駅〉

JR大阪駅 徒歩5分
地下鉄 御堂筋線「梅田駅」徒歩5分
谷町線「東梅田駅」徒歩5分
四つ橋線「西梅田駅」徒歩5分

**平成28年度鳥取県職員採用候補者選考試験
[文化財主事（任期付職員）] 受験申込書**

私は、鳥取県職員採用候補者選考試験[文化財主事（任期付職員）]を受験したいので申し込みます。
なお、この申込書の記載事項は事実と相違ありません。

平成 年 月 日

(写真欄)

申込前6ヶ月以内に無

帽で正面から上半身を写
した縦4.5cm、横3.5cmの

写真を貼付してください。

(ふりがな)

氏 名
(自筆)

※受験番号

生年月日

昭和・平成

年

月

日

性別

国 籍

☐ 日本国籍 ☐ 外国籍

(ふりがな)

現住所 〒

[電話 () - 携帯電話 -]

(ふりがな)

緊急連絡先 〒

[電話 () -]

最 終 学 歴

学 校 名

学部・学科・専攻等

在学期間

昭和・平成 年 月～昭和・平成 年 月 (卒・修了・卒見・修了見・その他)

職 歴

勤 務 先 名

所 在 地

在 職 期 間

職 務 内 容

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

発 掘 調 査 歴

注：発掘調査の内容がわかる報告書等の写し(例言及び調査員氏名の記載部分のみ)を添付してください。

調査機関(大学を含む)

職 名

発掘調査従事期間

調 査 遺 跡 名

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

※印の欄は、記入しないでください。

裏面へ続く→

免許・資格欄

取得年月	資格・免許

志望動機、アピールポイントなど

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

連絡事項（身体に障がいのある方で、車イスの使用等試験実施時に何か配慮が必要な場合に記入してください。）

**大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所 研究教育職員 募集要項
(ウェブサイト <http://www.ninjal.ac.jp>)**

国立国語研究所は、日本語研究の国際的拠点として、日本語学、言語学、及び日本語教育に関連する諸分野において国内外の研究者・研究機関と多様な共同研究プロジェクトを推進し、優れた学術的・社会的研究成果ならびに価値ある研究情報を研究者コミュニティ及び一般社会に発信することを目的としている。研究所は平成28年4月に研究組織が5つの研究領域（理論・対照研究領域、言語変異研究領域、言語変化研究領域、音声言語研究領域、日本語教育研究領域）と2つのセンター（研究情報発信センター、コーパス開発センター）に改組される予定である。このたび、5つの研究領域の一つである理論・対照研究領域の研究教育職員を以下のとおり募集する。

1. 募集内容

- (1) 職 名 教授 1名
- (2) 専門分野 日本語（意味論・形態論・統語論）の言語類型論研究
- (3) 配 属 先 研究系（理論・対照研究領域）
※なお、研究所内の連携・協力体制のため、センターの職務を兼務することがある。
※理論・対照研究領域は、理論言語学・言語類型論の観点から日本語を世界の諸言語と比較することによって日本語の普遍性と個性を解明することを研究目的とする。日本語の研究から出発して、究極的には言語学一般に貢献することが目標である。
- (4) 職務内容 日本語（方言を含む）を軸とした言語類型論研究を行うこと。
また、国内外の研究者との共同研究を推進すること。
※なお、理論・対照研究領域における研究だけでなく、他の研究領域における研究にも貢献することが望まれる。
- (5) 採用時期 平成29年4月1日（予定。採用日については応相談）

2. 勤務条件等

大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員就業規則に基づく（以下、条件等）

- (1) 勤務時間 専門業務型裁量労働制を適用する
- (2) 休 日 週休2日（土、日）、祝・祭日、
年末・年始（12月29日から1月3日）
- (3) 給 与 大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員給与規程に基づく
- (4) 保 険 文部科学省共済及び労働保険に加入

3. 応募資格

以下のすべてを満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
（平成29年4月1日までに学位の取得が可能な者を含む。）
- (2) 日本語を含む言語類型論研究の業績を有すること。さらに理論言語学に関する業績があることが望ましい。
- (3) 全国規模の共同研究を企画・運営する実績と意欲を有すること。
- (4) 日本語を母語としない場合、業務ならびに学術研究に支障がない程度の高度な日本語能力を有すること。

4. 選考方法

- (1) 第1次選考 書類審査

- (2) 第2次選考 面接審査（書類審査を通過した者に対して、平成28年5月下旬から6月上旬の間に面接審査を行う。詳細は第1次選考通過者に通知する。
なお、海外からの応募者に対しては、面接方法を考慮する）。

5. 提出書類

- (1) 応募申請書（様式第1号）
- (2) 研究者略歴（様式第2号）
- (3) 研究業績書（様式第3号）
- (4) 主要著書、論文（別刷又はコピー）5点以内 各1部
※なお、主要著書、論文については、第三者による評価を示すもの（例えば、受賞、書評、被引用件数、教材としての採択件数など）があれば添付する。
（コピー可）
- (5) 研究内容等（様式第4号）
※上記4つの様式（第1～4号）はウェブサイトよりダウンロードすること。

6. 提出締切日

平成28年4月28日（木）17時必着

7. 書類提出先

書留郵便とし、封筒に「研究教育職員応募書類（理論・対照研究領域）」
と朱記し、提出締切日までに必着のこと。

郵送先住所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
国立国語研究所 管理部総務課人事係 宛

※なお、提出された書類等は原則として返却しない。

<個人情報の取扱いについて>

本公募に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、教員として採用される方の情報を除き、全ての個人情報は責任をもって破棄します。教員として採用される方については、人事、労務、給与関係処理等採用手続き及び研究所内の各種手続きに使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

【本件問合せ先】

研究内容：理論・対照研究領域教授 窪菌晴夫

E-mail: kubozone@ninjal.ac.jp

勤務条件等：管理部総務課人事係

Tel : 042-540-4376・4382

福大人文 第16号
平成28年2月25日

関係大学長
関係機関長 各位

福岡大学人文学部長
星乃治彦
(公印省略)

教員（専任）の公募について（依頼）

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本学では下記の要領により教員（専任）の公募を行なうこととなりました。つきましては、貴学・貴機関関係者に周知方ご高配たまわりますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 採用職名 准教授または講師
2. 募集人員 1名
3. 担当予定科目 共通教育科目「西洋史」および歴史学科専門科目、大学院人文科学研究科史学専攻の科目
4. 専門分野 西洋中世史
5. 待遇 任期制雇用ではありません。本学の定年は65歳。給与および諸手当は本学給与規程の定めによります。
6. 着任時期 平成29年4月1日
7. 応募資格 ①博士の学位を有する者。または、それと同等の研究業績を有する者。
②大学・短大・高専での教育歴及び研究業績のある者
③採用後は、生活の拠点として福岡市またはその周辺に居住できること
8. 募集締切 平成28年5月6日（金）必着
9. 応募書類 ①履歴書（写真貼付、E-mailアドレスを明記）
②研究業績書
③教育業績書
④職務実績書
※上記①～④については、本学部ホームページ（「福岡大学 人文学部 教員公募」で検索
<http://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/index.php?koubo/index.html>）からダウンロードしてその書式を利用してください。
10. 選考方法 ⑤返信用封筒（長3）に宛名明記の上、82円切手を貼付すること
本学の人事規程に基づく書類選考（一次選考／5月末までに結果をお知らせします）、書類選考合格者に対して著書・論文等の審査による選考（二次選考）、面接と模擬授業による選考（三次選考）を行います。
11. 応募書類の提出先 〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学人文学部長 星乃治彦 宛
※封筒の表に、「歴史学科教員応募書類」と朱書きの上、簡易書留で郵送のこと。
12. 問い合わせ先 歴史学科主任 武末純一（内線 3877 E-Mail takesuej@cis.fukuoka-u.ac.jp）
13. 備考 提出書類に含まれる個人情報、本選考以外の目的には使用しません。また、提出書類は全ての業務終了後適切な方法で処分します。返却できません。

2016年3月7日

関係機関長 殿

中京大学国際教養学部 杉江 修治
(公印省略)

専任教員の募集について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記のとおり専任教員を公募いたします。つきましては、関係各位への周知について、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

募集要項

1. 担当科目 学部固有科目・全学共通科目の「英語」および関連科目
2. 職名 講師または准教授
3. 採用人数 1名
4. 応募資格
 - (1) 言語学または英語学を専門的に研究していること
 - (2) 着任時に博士の学位を有すること、またはそれと同等の研究業績を有すること
 - (3) 日本語と英語の両方で教育指導ができること (大学レベルでの英語教育経験を有すること、また英語圏留学経験を有することがのぞましい)
 - (4) 日本語母語話者でない場合、職務遂行に支障のない日本語運用能力があること
 - (5) 名古屋市またはその近郊に常住し得ること
5. 採用時期 2017年4月1日
6. 応募締切 2016年6月3日 (金) 必着
7. 応募書類
 - (1) 履歴書: 6通 (原本1通とコピー5通。写真貼付, 押印, 電子メールアドレスを記載すること)
 - (2) 研究業績一覧: 6部
 - (3) 主要業績3点: 各1部 (抜刷・コピー可)。主業績1点を明示すること。
 - (4) 主要業績3点の要旨: 各6部 (それぞれの業績につき英語で400語程度)
 - (5) 現在までの研究・教育内容の特色, 今後の研究計画と英語教育方針の概要: 6部 (日本語で3,000字程度)
8. 選考方法 国際教養学部教授会において審議の上, 選考する。
※ 選考にあたり面接・模擬授業を実施する場合がある。
※ 交通費は自己負担とする。
9. 書類送付先 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町 101-2
中京大学国際教養学部長 杉江 修治
※ 応募書類は、封筒に「英語専任教員応募(言語学)」と朱書きし、書留または記録の残る輸送方法で送付のこと。
10. 問い合わせ先 中京大学教学部 (国際教養学部担当) FAX: 052-835-7164
※ 問い合わせはFAXで行うこと。
11. 備考
 - (1) 提出書類に含まれる個人情報には本選考以外の目的には使用しない。
 - (2) 研究業績返却希望の場合は返送用封筒 (切手貼付、宛先明記) を同封のこと。
 - (3) 本学部の詳細は本学部 HP (<http://www.ils.chukyo-u.ac.jp>) を参照のこと。
 - (4) 本学の定年は65才である。
 - (5) 本学部は本件と別に英米・英語圏文学または英語圏の社会・文化を専門的に研究する英語専任教員の募集も行っている。

Chukyo University
101-2 Yagoto Honmachi
Showa Ward
Nagoya City 466-8666
Japan

7 March 2016

Faculty Position in English Language
School of International Liberal Studies, Chukyo University

Chukyo University (School of International Liberal Studies, ILS) invites applications for a tenured, full-time faculty position in English language.

Course responsibilities	English language classes (including oral communication) for International Liberal Studies students, general English language classes, and other related classes
Qualifications	(1) Ph.D. (anticipated by April 2017) or equivalent professional qualifications in (English) linguistics; (2) Language of instruction: Japanese and English (teaching experience of English at the university level desirable); (3) Non-Japanese native speaking applicants must be able to carry out regular administrative duties using Japanese; (4) Resident of Nagoya City or the adjacent area as of 1 April 2017
Title of position	Lecturer, or associate professor, depending on qualifications
Number of openings	1
Starting date	1 April 2017
Application deadline	3 June 2016 (deadline of receipt)
Application materials	(1) the original signed curriculum vitae in Japanese (<i>rireki-sho</i>), including a recent photo and e-mail address and 5 copies; (2) 6 copies of list of publications and other research activities (in Japanese); (3) 1 copy of 3 major publications (offprints and photocopies acceptable; specify the most important one); (4) 6 copies of English synopses of 3 major publications (about 400 words each); (5) 6 copies of a statement in Japanese (about 3,000 characters), summarizing your teaching experience and research so far and outlining your proposals concerning English language teaching at Japanese universities and future research plans
Selection	To be selected in the faculty meeting of the School of International Liberal Studies, Chukyo University. Short-listed candidates will be invited for an interview and required to present a model lesson. No travel expenses will be reimbursed.
Mail to	Professor Shuji Sugie, Dean of School of International Liberal Studies, Chukyo University, 101-2 Yagoto Honmachi, Showa Ward, Nagoya City 466-8666, Japan (On the face of the envelope, indicate in red, "Application for Faculty Position in English Language (linguistics)," and send it by registered mail.)
Reference	Kyogakubu, Chukyo University (FAX: 81-(0)52-835-7164) Enquiries should be directed only by FAX.
Notes	(1) Submitted materials will be treated confidentially, and will not be used for any other purposes. (2) Submitted publications can be returned by enclosing a stamped, self-addressed envelope. (3) Relevant information about Chukyo ILS is available at http://www.ils.chukyo-u.ac.jp/ . (4) Our mandatory retirement age is 65.